

(応募用紙)

令和 年 月 日

雫石町地域づくり推進課長 様

住所 _____

氏名・団体名及び代表者氏名

令和3年度雫石町ふるさと文化振興基金助成事業にかかる応募について

令和3年度において、雫石町ふるさと文化振興基金助成事業として下記の事業を行いたく、関係資料を添えて応募します。

記

1 事業名 _____ 事業

2 事業対象区分 (次のいずれかに○)

- 町の文化・芸術の保存伝承及び振興並びに創造に寄与する事業
- 町の生産産業の振興及び創造に寄与する事業
- 町の福祉、保健衛生の向上に寄与する事業
- 町の体育、スポーツの振興に寄与する事業
- 町の教育の振興に寄与する事業
- 町の観光の振興及び創造に寄与する事業
- 町の自然保護、環境対策の推進に寄与する事業
- 町民に有益と認められる講演会、発表会及び討論会等の開催事業
- その他特に必要と認められる事業

3 応募区分 (次のいずれかに○)

- 新規事業① (事業費の全額) 上限 20 万円
- 新規事業② (事業費の2分の1以内の額) 上限 50 万円
- 継続事業 (事業費の2分の1以内の額) 上限 50 万円

4 助成希望額 _____ 円

【関係書類 1】

令和3年度雫石町ふるさと文化振興基金助成事業に係る事業概要等調書

1 事業の概要について

目的	対象者	【事業実施の主なターゲット】(例：65歳以上の町民、地域住民、町民全般、観光客 等)		
	受益者	【事業を行ったことにより、直接的・間接的に効果を受ける相手】(例：受講者、参加者 等)		
	意図	【事業を行うことによって期待する状態や成果】 (例：健康づくりへの関心が高まり、自主的に地域で健康づくり活動を行うようになる。)		
手段及びスケジュール	【目的を達成するための事業をいつ、どのような内容・方法で行うか。】			
実施期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
目標・効果	【事業を行うことで得られる効果の3年間の目標値。】(例：受益者の満足度、観光客・利用者の増加数・割合等)			
	指標名	令和 年度	令和 年度	令和 年度
※設定した項目については、必ず調査を行っていただきます。				

2 事業の実施体制について

協働の相手	【事業実施にあたり、協働(連携協力を含む)の相手として想定する機関・団体・個人】
周知方法	【実施事業をどのように周知するか】

3 収入の確保と経費節減について

【町補助金の他に収入を確保する工夫や、経費節減のために努力しようとしていること】

4 効果的・効率的な事業の推進について

【事業をより効果的、効率的なものにするために努力しようとしていること】

5 持続可能な事業実施に向けて（今後の方向性）

【これから団体として努力しようとする事、又は役場とともに検討したいこと】

6 その他

【全体を通じ、創意工夫、アピールポイントなど、事業に対する想い】

※その他、必要な資料等があれば添付してください。

【関係書類 2】

収 支 予 算 書

1 収 入

(単位：円)

区 分	予算額A	前 年 度		比較増減 A－B	備 考
		予算額B	決算額C		
町補助金					
計					

2 支 出

(単位：円)

区 分	予算額A	前 年 度		比較増減 A－B	Aの財源内訳		備 考
		予算額B	決算額C		町補助金	その他	
計							

1. 区分は、要項に基づき「報償費」「旅費」「消耗品費」などと記入してください。
2. 備考欄には主な積算根拠を記入して下さい。
3. 区分ごとの内訳明細については、別紙「経費の積算根拠」に記入し、同時に提出してください。

【関係書類 2 (別紙)】

経費の積算根拠

区 分	予算額	積 算 根 拠
計		

1. 区分は、収支予算書と同じく、要項に基づき「報償費」「旅費」「消耗品費」などと記入してください。
2. 区分及び予算額は収支予算書と相違ないように記入して下さい。

【関係書類 3】

事業主体の概要等調書

(年 月 日現在)

団 体 名				
所 在 地	〒 〇〇〇〇 〇〇町			
代表者名				
設立年月日	年 月 日			
法人取得年月日	年 月 日 ※法人の場合のみ			
会員数	人			
団体の目的				
活動内容・実績 (過去に企業や行政等と協働事業を行っている場合は、それを中心に記載してください)	(期間・事業名称・協働相手方・内容を記載してください)			
活動状況	会報の発行	回/年	活動分野	
	団体活動回数	回/年	活動地域	
担当者	(氏名) (連絡先) TEL : FAX : E-Mail :			